

切磋琢磨



令和元年10月30日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町 1073-1
TEL (0573) 25-5261

前期から後期へさらなる飛躍を

校長 伊藤勝彦

10月15日から後期が始まっています。それと共に第5ステージ「改」のスタートです。前期の恵那東中学校は、生徒会スローガン「共鳴～429人の呼応で築く恵那東中黄金期～」のもと、日常生活にこだわり、その質を高めることを中心に取り組んできました。その最大の成果は、「恵那東中学校の黄金期」が創られつつあるということです。そのことを示す「誇れる事実」が各学級や各学年、全校の至る所で見られます。最初にあげられるのが、安定した日常生活です。一日で言えば登校時から下校時まで、一週間と言えば月曜日から金曜日まで、夏休み前でも夏休み後でも生徒の姿に浮き沈みがありません。いつでも当たり前前のことが当たり前前にできるようになってきています。空き教室もいつも美しく保たれています。そして、その当たり前前である日常生活の質を少しでも高めようと意識して取り組んでいるのが現在の恵那東中学校です。この「少しでも質を高めよう、よりよいものをめざそう」という風土が創られつつあるのが黄金期にふさわしい東中学校の姿です。今年度は、東中学校の3本柱である「挨拶・合唱・無言清掃」に加えて授業の質も高まっています。いつも授業評価5をめざそうと意気込んでいます。その結果「誰もが安心して生活できる東中」に近づきつつあります。前期まとめの集会のアンケート結果では、「誰もが安心して生活できる東中」になっていると答えた生徒は、「はい」と「まあまあ」を合わせて85%でした。高い数値が全校生徒の前に示されました。これは、全校を巻き込んだ生徒会のキャンペーン活動や各委員会の取組、各学年のキャンペーンや学級の取組など、全校生徒が黄金期にふさわしい恵那東中学校にしようとして一丸となって取り組んできた成果だと思っています。

今年度はこの「誇れる事実」が学校の中だけでなく、地域でも創られています。1年生と2年生は地域の方々と共に大井町を元気にするためのまちづくりを行っています。1年生は、10/26(土)、「まちなか市」を盛り上げようと取り組みました。意気を感じて取り組む生徒の姿がたいへん印象でした。2年生は放課後づくりプロジェクトにがんばっています。3年生は昨年から行われている防災活動の中心的な役割を果たしています。また、ボランティアに参加した生徒の一生懸命さに地域の方々からの賞賛の声も耳にします。地域の方々に支えられながら、地域で活躍する生徒の姿が表れはじめ、その中で確実に成長している東中学校の生徒の姿をたいへんうれしく思っています。

現在、生徒たちは後期の組織で日々の生活を送っています。新しい組織で取り組んだ後期スタートダッシュキャンペーンでは、どの学級、学年も3日間の活動すべてを完璧にしようと取り組みました。不十分だったところがあれば改善して完璧になるまでやりきろうとしました。後期の生徒会役員は会長の北原奏愛さん、副会長の小林峻輔くんをはじめすべての生徒が前期に創られた黄金期にさらに磨きをかけようと、より質の高い日常生活をめざして取り組んでいます。その思いは全校に広がりつつあります。一人一人の生徒の意識が確実に高まってきていると感じています。このあと、学年や学級独自の取組が展開され、その学年や学級らしさが表れてくるのではないかと思います。そして、それが学級の文化として示す合唱発表会につながっていくものと思っています。前期に引き続き、後期も恵那東中学校の生徒に温かいご支援とご声援をよろしく願います。



13 組国語科全校研の授業の様子